

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 サンライズ

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【○年○月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・「安全第一、災害ゼロ」を経営理念として定め、経営者は、月1～2度の安全ミーティング等の場を活用し社員に周知徹底している。社員もそのことを十分理解し実践している。								8	9								17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・交通法規や労災隠しの防止など、法令遵守の重要性について、日頃から社員に周知し、特に、業務終了時等に経営者が違反の有無を確認するなど徹底している。																	16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・ゼネコンのサポートセンター、通報制度等を活用し、賃金未払いの強要や不当な契約が行われないようにし、経営者がそのことを社員に周知し、何か不公正なことがあれば社員から経営者に報告が上がってくるようにしている。										10							16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・作業員、職長、経営者のラインで、チームで業務を遂行しているが、事業活動で発生する騒音や粉塵など、周囲に迷惑がかからないように組織的に対応する体制にしている。																	16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・止水工事の遂行に当たり自社独自の止水工法を考案しているが、その保護に努めるとともに、他社から預かった知的財産についても取り扱いに注意するよう経営者から社員に周知している。								8.2 8.3	9										
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・顧客名簿や社員情報など個人情報については、外部には決して持ち出さず、経営者が一括、厳重に管理している。																	16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・月に必ず1度は顧客等関係者の現場に赴き、現場状況の確認と意見交換を行っている。また、電話等で毎週1度は情報交換を行うようにしている。																16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●						5			8		10		12	13	14	15	16	17			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●									9		11		13.1							16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・日常の様々な業務場面を通じて後継者の指導・育成に取り組んでいる。						8	9											17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2		5			8				12	13	14	15	16	17			
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・ベトナムやインドネシアの外国人も雇用しているが、あらゆる面で差別しない体制を徹底している。具体的には月2～3度食事会を開催し経営者から差別禁止を注意喚起している。また、経営者、職長を相談窓口としている。			4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・ゼネコン主催の安全講習会に社員全員を参加させている。また、安全器具等を装着し作業に当たることを日々経営者が発言し徹底を図っている。		3					8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・正規、非正規、外国人の区別なく、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している				5.5			8.5		10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		・ワークライフバランスを推進するために、令和4年6月から月2回の週休二日制を導入した。また、日頃から代休や有給休暇の取得を経営者が社員に奨励している。		3		5.5			8.5 8.8		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・防水工事一級国家資格の取得を奨励し、受講料は会社で負担するとともに、資格取得者には給与面で優遇している。また、県の防水組合の若手育成の講習会等に積極的に参加するようしている。			4	5.5			8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・現場で必ずラジオ体操を励行するとともに、年1回健康診断の受診を会社負担で行うようしている。		3					8										17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・ベトナム人、インドネシア人を雇用しているが、現場に母国語の案内板を表示したり環境整備に努めている。また法務省の雇用協力支援機関に所属し関係者を雇用し多様な人材が活躍できる場の提供に取り組んでいる。			4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・ウェブ会議を会社全体では月1回、現場によっては月3～4回開催している。また社内にはオゾン装置を常備し、車両にはマスクと消毒液を携行している。さらに会議の際は窓開けを徹底している。		3					8	9.1		11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●									8	9.1		11	12								
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●			3	4				8	9		12									

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 サンライズ

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【○年○月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1 人権を尊重する 社会をつくる	2 異なる文化を尊重する 共生社会をつくる	3 環境を守る 資源を循環させる	4 知識を広め 学びを深める	5 健康で安全な 生活環境をつくる	6 経済成長を 持続可能な形で	7 気候変動を 緩和する	8 経済成長を 持続可能な形で	9 異なる文化を尊重する 共生社会をつくる	10 人権を尊重する 社会をつくる	11 経済成長を 持続可能な形で	12 つども貧困を なくす	13 異なる文化を尊重する 共生社会をつくる	14 環境を守る 資源を循環させる	15 異なる文化を尊重する 共生社会をつくる	16 人権を尊重する 社会をつくる	17 パートナーシップで 持続可能な世界をつくる
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・有機溶剤に関する資格を取得し適切に処理するとともに、化学物質の取り扱いについても現場内で表示するなど、適切な管理、処理を徹底している。				3.9		6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・ガソリン車2台をハイブリッド車に切り替え、照明はLEDに転換、エコキュー導入などエネルギーの削減に努めている。 【予定】令和5年2月から簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を把握し、さらなる削減に取り組む。						7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・ガソリン車2台をハイブリッド車に切り替え、照明はLEDに転換、エコキュー導入などCO2の削減に努めている。 【予定】令和5年2月から簡易計算シート等を用いてCO2の排出量を把握し、さらなる削減に取り組む。		2.4				7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び従業員の活動においてエコパックの使用やマイ箸の活用などプラスチック削減に取り組んでいる。また、会社や現場には緑地帯を設け、その保全に努めている。					6.6							14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・再生用紙の利用を推進している。また、ゴミの分別を徹底し、業務で使用する缶をリサイクルできるエコ缶への転換を図っている。							9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・節水の周知徹底を図るとともに、防水工事等で排出される水については、一度沈殿物を沈殿させゴミや異物を排除し上澄みを流すなど水質の保全に努めている。		2.4			6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生用紙の利用を推進している。また、環境対応型の防水材を使用、提案し、その普及に努めている。							9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・新型コロナウイルス感染症の影響で、以前より会食の機会は減っているが、会食の際は必ず経営者から3010運動を呼びかけ食品ロス削減に取り組むようにしている。	1	2			6.4					12.3		14	15		17		
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・会社周辺の緑化や作業現場への花のプランター設置に努めている。また、夏場はゴーヤによる緑のかーتنづくりにも取り組んでいる。									11.6 11.7		13.1 13.3		15		17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・事業及び従業員の活動においてエコパックの使用やマイ箸の活用などプラスチック削減に取り組んでいる。また、自治会活動の一環でペットボトルの回収など清掃、リサイクル活動に参画するようにしている。									12.2 12.5		14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●	●							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13			17.2		

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社 サンライズ

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・品質と安全性の高いフォースター(四つ星)商品を活用するようにしている。また、クレーム等があれば経営者が誠心誠意、迅速な対応をモットーにしている。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・ウォシュレット便座や階段の手摺り、段差にスロープの設置を行うなど、誰もが利用しやすい環境整備に努めている。									9.1	10	11.7					17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		・贈答品などを含め、できるだけ熊本県産品を優先的に活用するようしている。	2.3 2.4						7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●								7						12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・自治会の清掃活動などに積極的に参加している。また、災害時の水の提供や普段からコンビニや24時間テレビの寄付・募金などを行うようしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、社内に掲示し社員との共有を図っている。また、リュック式の防災キッドを常備するなど事前防災対策を進めている。	●		・ハザードマップを確認し、社内に掲示し社員との共有を図っている。また、リュック式の防災キッドを常備するなど事前防災対策を進めている。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●			1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●											9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		【予定】令和5年2月に社内でSDGsの研修会を実施する。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受け入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●						4					8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		・ハローワークと提携し県内の若手の雇用に取組んでおり、令和3年度は2人採用した。				4.4					8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●			2		4.3 4.4 4.5						8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。